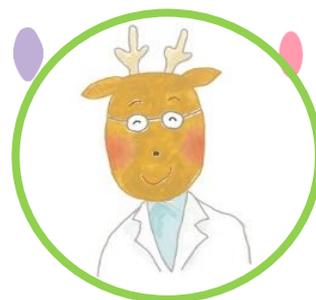


性感染症に関する豆知識⑩ B型肝炎編



- 妊娠中や出産時に赤ちゃんにうつる可能性があり、感染妊婦さんが出産した赤ちゃんには予防のため注射をします。帝王切開や母乳停止の必要はありません。
- B型慢性肝炎は赤ちゃんの時期に感染した場合はほとんどです。
- 相談する場所は男女ともに内科。妊婦さんは産婦人科へ。採血して検査します。妊婦健診でも検査をします。治療は注射です。
- 全国に150万人のウィルスキャリアがあり、そのうち慢性化は5%程度で、10～30年後に肝硬変や肝がんになることがあります。
- 原因はB型肝炎ウイルス（HBV）です。血液、精液、膣おりものに多く含まれており、性行為や注射器の回し打ちでうつります。
- 予防ワクチンがあり、2016年から乳児の定期予防接種になっています。
- 感染した1か月後くらいから全身のだるさ、微熱、吐き気、食欲低下があります。その後、黄疸がでます。
- 1か月くらいでよくなりますが、重症化して劇症肝炎になり死亡することもあります。また、慢性化することもあります。

